

令和 6 年第11回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和 6 年11月28日（木曜日） 午後 1 時42分から 4 時12分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・芳澤佐織
欠席委員の氏名	馬場優子
説明員の職氏名	教育部長 滝沢淳・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 中條智則・学校教育課長 下ノ坊圭・学校教育課副参事 澤田秀一・生涯学習課長 吉野修・生涯学習課副参事 松本尚也
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	なし
会議資料の名称	会議次第、教育長報告、議案第29号から31号

議題及び決定事項等

議案第29号 令和 6 年度日高市一般会計補正予算（第 6 号）（教育委員会所管）

【原案どおり可決】

議案第30号 日高市立図書館雑誌スポンサー制度実施要綱の一部を改正する告示

【原案どおり可決】

議案第31号 日高市図書館協議会委員の委嘱について

【原案どおり可決】

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○教育委員会部課長会議、校長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

（委員）令和 7 年度搭載埼玉県公立小中学校等校長候補者選考、教頭候補者選考について、市内からは校長候補者選考は 4 人中 2 人が名簿登載者に、教頭候補者選考は

- 1 人が名簿登載者となったとのことだが、受験者支援などは行っているのか。
- (教育部参事) 学校運営学習会という勉強会を行っており、現職校長等が講師となり、対策を実施している。
- (委員) 校長、教頭になることを希望しない教員が増えている。志したいと思わせるような魅力が必要だと思う。仕事と責任が増えるだけでは成り手が減っていくと思う。
- (委員) 45 分、50 分の授業の中で「教えない教育」を実践するのは難しいことだと思う。教員の資質が問われる。子どもたちに考えさせる。教員はしゃべりすぎないといっても実践することは大変だと思う。
- (教育長) 教員が一方的に説明しても、子どもたちの身になりづらい。考えさせることが大切である。1 つの授業時間で教えることは 1 つである。課題を明らかにして、焦点化していく。そこで子どもたちが考える時間を設けなければならない。
- (委員) 算数、数学はやりやすいかもしれない。社会や英語などはむいていないのではないか。
- (教育長) 教科によって違いはある。問題解決型の教科では考えさせることが大切で、技能的教科については、活動時間を多くする。
- (委員) 教えない教育は何年も前から言われているが、なかなか実践できていない。教員ができていないのは何が問題なのか。論法はわかるが、教育委員会で具体例を示したほうが良いのではないか。
- (学校教育課長) 子どもたちに失敗させたくないという思いから、教員が教えすぎてしまう。そうすることは、実は子どもたちの身についていないということを気づかせていくことが大切である。問題解決学習では、子どもが問題解決能力を身につけなければならない、教員が教えて、その通りにできるようになっても、それは学習のねらいとは違う。子どもたちが考える時間を作ることが大切である。
- (委員) 短い授業の中で、完結させるのは難しいのではないか。途中で授業が終わってしまうのは一番よくない。そういったことから、一定した教育が実施できるよう教育委員会が指南していかなければならないと思う。
- (教育長) 教員指導に行くと、少しずつ教えない教育が実践できてきている。教員の意識も変わってきているところである。
- (委員) 教えない教育以前に教え込む教育もままならないような教員もいるのではないか。教員の資質の低下を危惧している。
- (委員) ICT が進み、調べればすぐに答えがでる時代である。授業で学生に質問するときは、間違ってもいいから答えてほしいと言っている。間違えが多いということは、教え方が足りていないと実感する。
- (委員) 数人の保護者から聞いた話だが、今は進路指導が塾任せになっており、学校が指導してくれないとのことであるがどうなのか。
- (委員) 以前は学校で生徒たちの進路を決めていくような状況であった。偏差値で区切る、いわゆる輪切り教育が問題になり、学校側が直接かかわらなくなった。なので、塾がそのような役割を行っている。
- (教育長) 今後は、受験方法も変わっていく。学校からの内申書も本人の自己 PR 形式に変わっていく予定である。

(委員) 私立はどうなっていくのか。

(教育部参事) 今は、公立と同じ内申書が用いられているが、これから変わっていくと思われる。

(委員) 自分の人生は自分で考えなければならない。考えれば、自ずと勉強に励むようになる。

(委員) 西部教育事務所の人事ヒアリングとはどういった内容なのか。

(学校教育課長) 今回は来年度に向けて、学級数や教員の必要数などを確認し、人事異動の対象者などの情報を共有している。

(委員) 人事は管理職育成にもつながる。今の若い人は管理職になりたがらない。仕事の責任が増し、時間外手当はでない。メリットを感じていないと思う。

(教育長) 優れた校長の下で仕事をして、管理職を志す教員もいる。

(委員) 女性も定年まで働く時代である。新採用の時期から、管理職になるように育成していくことも大切だと思う。また、育児休業が取得しやすい職場でもあってほしい。

(学校教育課長) 学校は育児休業を取りやすい環境ではあるが、代替の教員が見つかりづらいのも現状である。

(委員) 指定管理者制度について、文化体育館などの管理をコナミからアシックスに変えるとのことだが、要因は何か。

(生涯学習課長) 提案していただいた内容が、他社より秀でていた。具体的にはトップアスリート招聘イベントの開催や各種スポーツ教室などの提案があった。

(委員) 市民への対応の質が落ちなければよいと思う。

(委員) 学級閉鎖や感染症の状況はどうか。

(教育部参事) インフルエンザが出だしている。新型コロナウイルス感染症の報告は来ていない。

(委員) 新たな新型コロナウイルス株 XEC 株は感染力が非常に強く、後遺症の率も高い傾向にある。今後流行の可能性がある。受験のシーズンにもなるので、躊躇せず学級閉鎖にしたほうがよい。

(委員) 市の教育研究会とは何を行っているのか。

(学校教育課副参事) 高麗川小・中学校では連携してふるさと科の研究発表を実施した。高萩北小学校では、学級活動を通して非認知能力を高める研究発表を行った。

(委員) 市のタブレット端末は英語の発音などの音は出せるのか。

(学校教育課副参事) 教科書にある QR コードを読み取ると音声を聞くことができる。

(委員) 今年の共通テストのヒアリングを聞くと、ネイティブの発音である。小学校、中学校のうちに耳を慣らしたほうがよいと思う。単語ではなく、センテンスで聞かせないと意味がない。また、ネイティブではない AET の発音はいかがかと思う。

(委員) 今年度に入って県内の教員の懲戒処分が 7 件あったが、こういった傾向があるのか。

(教育長) 機械の小型化による盗撮や子どもとの SNS トラブルが増えている。管理職には朝見回りして抑止力としてもらいたいと指導している。

(委員) 入間地区教育員会連合会の視察研修で戸田市のインクルーシブの取り組みを視察しているが、インクルーシブ教育や教えない教育など全てを実践していくとは

難しく余裕がないと思う。やるが多すぎると思う。

(教育長) 教員には、子どもたちのために何ができるのかというのを常に根本にもってもらいたいと思っている。

(委員) ひだか郷土かるたの改定について、どのように作成したのか、また、完成品は配布するのか。

(生涯学習課長) 初めに子どもたちから読み札を募集し選定した。選定した読み札をもとに絵札を募集し作成した。配布については、小学生、義務教育学校前期課程の児童等に行う予定である。

(委員) 先日、入間地区教育委員会連合会の視察研修に参加したが、とても参考になった。戸田市のオープンスペースの教室はよい取り組みである。民間企業と協働で教育を進めている。お金がないことを言い訳にはならないという言葉が印象的であった。

4) 議題

議案第 29 号

(委員) 債務負担行為の修正について電気料金の値上げによるものなのか。

(教育総務課長) 体育館に設置する空調分の電気料金を上乗せするものである。

議案第 30 号 【質疑なし】

議案第 31 号 【非公開のため記載せず】

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○12月定例会：12月17日（火曜日）午後1時40分から 委員了承

○1月定例会：1月22日（水曜日）午後1時40分から 委員了承